

「書物・出版と社会変容」研究会 活動記録

- ・開催日・場所・報告者・報告タイトルなど。
- ・百二回まではバックナンバーを参照。

第百三回 二〇一六年二月六日 一橋大学佐野書院

鈴木直樹 「近世前期関東における土豪の特質―『風土記

稿』を素材に―

高橋章則 「江戸近郊八景」の後景―広重と淮南堂三世連

―」

第百四回 二〇一六年四月二日 一橋大学佐野書院

引野亨輔 「近代仏書出版史序説―活字印刷・洋装製本の

導入と東京・京都の仏教系出版社―

井上泰至 「幕末絵本読本の思想的側面―鶴峯戊申校・歌

川貞秀画『絵本朝鮮征伐記』を中心に―」

第百五回 二〇一六年五月七日 一橋大学佐野書院

尹朝鐵 「風土と医学―『正化弁証』の紹介を兼ねて―」

西聡子

「近世後期の遍路日記と道中案内記―阿波商人
酒井弥蔵の『さくら卯の花旅日記』を手がかり
に―」

第十六回 「酰奇会」

第百六回 二〇一六年六月四日

筑波大学共同利用棟A101

筑波大会

根本みなみ

「書物からみる萩藩藩主・毛利重就の御家認
識―

山下須美礼

「地方知行給人の給地における役割と人的ネ
ットワークの形成―幕末仙台藩の書物をめ
ぐる動向を中心に―」

第七七回 二〇一六年七月二十三日

すみだ郷土文化資料館

福澤徹三 「技術書に見る武士の火術稽古と花火」

鎮目良文 「企業博物館における地域史研究―隅田川を

めぐる文化と産業」展から見えたこと―」

第八八回 二〇一六年九月二十四日 一橋大学佐野書院

若尾政希 『シリーズ本の文化史3 書籍文化とその基底』

を編みながら考えたこと―」

西秋ユキヲ 「当世和本屋気質―昨今の古本屋事情―」

第九九回 二〇一六年十一月五日 一橋大学佐野書院

鈴木淳世 「八戸藩領の書物流通―豪農・豪商の書物受容

との関連で―」

倉員正江 「宝暦十三年刊『朝鮮年代記』に見る朝鮮像」

第一百十回 二〇一七年一月七日 一橋大学佐野書院

松永瑠成 「貸本業界―その構造と営業―」

木場貴俊 「名物化する怪異／名所化する怪異」

第一百一十回 二〇一七年二月四日 一橋大学佐野書院

万波寿子 「書物の身分」と近世仏書

工藤航平 「近世後期の小金井桜の名所化と書物・出版文

化」

第一百十二回 二〇一七年四月八日 一橋大学佐野書院

小関悠一郎 「遊佐木斎門人山田須敬の集書と蔵書整理をめ

ぐって―陸奥国村田郷商家・山田家旧蔵書の

紹介―」

鈴木俊幸 「書籍業界における近世中期の終わり方」

第十七回 「酖奇会」

第一百三十三回 二〇一七年六月三日 一橋大学佐野書院

市川廣太 「白隠慧鶴とその画賛集出版をめぐって―『画

讃稿』『揺籃船』からみる白隠墨蹟享受の一樣

岩坪充雄 「近世書物と毛筆文化研究」

第一百四十四回 二〇一七年七月二十二日 一橋大学佐野書院

伴野文亮 「幕末期遠州の地域文化と金原明善―『御一新」

前後における思想形成過程を考えるための覚

書―」

上野太佑 「『葉隠』はどう読まれてきたか―近代の受容を

めぐって――」

第百十五回 二〇一七年九月三十日

京都大学総合博物館三階講演室

京都大会

有坂道子

鈴木則子

鍛冶宏介

「漢蘭折衷医・小石家の医書とネットワーク」
「賀川流産科医学教育における医書の位置づけ」
「疱瘡神託び証文と若狭小浜組屋家の疱瘡守り
札」

第百十六回 二〇一七年十一月四日 谷中霊園

拓本実習

岩坪充雄

「拓本の技法を学ぶ」

第百十七回 二〇一八年一月六日 一橋大学佐野書院

宮本花恵

膽吹覚

「ウス善光寺刷物にみる蝦夷地教化」
「近世後期、真宗末寺の出版における板元につ
いて――京都、大行寺信暁の著書（板本）を通
して――」

第百十八回 二〇一八年二月三日 一橋大学佐野書院

高田智仁

高槻泰郎

「所用印を起点にみる岡部藩安部家の文事」
「相場指南書」から見た大坂米市場」

第百十九回 二〇一八年四月七日 一橋大学佐野書院

古畑侑亮

殷曉星

第百二十回

井上快

一戸渉

第百二十一回

青野誠

鈴木愛

第百二十二回

幕末維新期の民衆における世界観と自他認識の
変容――菅野八郎における「異国」・「異人」意識――

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「幕末維新期の民衆における世界観と自他認識の
変容――菅野八郎における「異国」・「異人」意識――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「幕末維新期の民衆における世界観と自他認識の
変容――菅野八郎における「異国」・「異人」意識――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

「常盤潭北の教訓書にみる在地の指導者層――メ
ディアとしての「教訓書」の可能性――」

（文責・鈴木淳世）